

## 第60回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

- 【開催日時】 令和3年12月22日（水） 19:00～19:40  
【場 所】 横浜労災病院病棟9階操作研修室、9階研修室（Zoom開催）  
【司会進行】 内藤委員長（議事の進行）  
小森田事務局次長（議事以外の進行）  
【出席委員】 内藤委員長 鈴木副委員長 山本（俊）委員 坂本委員  
岩田委員 深澤委員 芝山委員 北川委員 山下委員

### 1 開会

### 2 三上病院長挨拶

### 3 永瀬副院長（患者サポートセンター長）挨拶

### 4 議事

#### （1）入院・外来患者数等実績報告（令和3年度10月累計）

（※今回は、病院として「コロナ前の水準への回復」が当面の目標となっていることもあり、各種データは令和元年度と比較することにする。）

##### 1 紹介・逆紹介件数

紹介及び逆紹介件数（月平均）は、令和3年度（10月累計）1377.9件/1474.6件（令和元年度1669.0件/1584.5件）であり、紹介件数△291人/月、逆紹介件数△109人/月と新型コロナウイルスの影響により回復が思わしくない。

##### 2 紹介率・逆紹介率

紹介率及び逆紹介率は、令和3年度（10月累計）99.8%/93.3%（令和元年度93.7%/88.9%）であり、紹介率+6.1%、逆紹介率+4.4%となった。紹介状がない直接来院が減った影響もあり、相対的に今年度の紹介率が上昇した。

##### 3 入院患者数・平均在院日数

1日平均入院患者数及び平均在院日数は令和3年度447.1人/10.2日（令和元年度525.1人/10.1日）となり、新型コロナウイルスの影響により患者数は大きく減少したが、平均在院日数は例年並みであった。入院患者の確保が喫緊の課題であり「PFMプロジェクト」を立ち上げ、地域連携強化等院内体制の再整備に取り組んでいる。

##### 4 外来患者数（延患者数・実患者数）

1日平均外来患者数は、令和3年度1604.8人（10月累計）（令和元年度1859.1人）となり、新型コロナウイルスの影響により、実患者は△85.8人/日、他科併診患者も△133.6人/日と患者数が大きく減少した。

##### 5 救急患者数・救急搬送件数

月平均救急患者数及び救急搬送数は令和3年度1519.9人/567.9台（令和元年度2019.8人/592.1台）となり、新型コロナウイルスの影響により患者数は大きく減少した。救急搬送件数はコロナ前に回復しつつあるが、救急取扱患者数は△500人/月という状況である。これは不要不急の外出抑制によりウォークイン患者が減少している影響と思われる。

## 6 新入院患者の経路別入院数

新入院患者の経路別入院数で救命救急センター経由の入院比率と救命救急センターを経由の入院数は、令和3年度(10月累計)は32.4%(434.8人)〔令和元年度30.5%(507.4人)〕となり、新型コロナの影響により全体の患者数は減少したが、救命救急センター経由の入院数はそれほど変わらなかったため、救命救急センター経由の入院比率が相対的に上昇した。

## 7 分娩件数・ハイリスク分娩件数

月平均分娩件数(通常分娩件数/ハイリスク分娩件数/ハイリスク分娩率)は、令和元年度62.2件(51.3件/10.9件/17.6%)、令和3年度(10月累計)51.0件(39.1件/11.9件/23.2%)とコロナの影響で分娩件数は減少しているが、ハイリスク分娩件数は微増であったため、相対的に分娩比率が上昇した。

## 8 分娩における地域別患者構成比

当院における分娩の地域別患者構成比は、病院所在地である横浜市港北区が41.5%、旧横浜市北部医療圏6区の合計で87.9%となっており、ほぼ例年通りであった。

## 9 放射線(ノバルス・リニアック・IMRT)治療実績

月平均患者数は、令和3年度(10月累計)28.9人(泌尿器科11.9人/乳腺・呼吸器外科7.6人/脳神経外科9.4人)で、令和元年度21.3人(泌尿器科11.3人/呼吸器外科1.8人/脳神経外科8.3人)と比較し増加した。なお、令和4年2月よりリニアック更新に伴い休止することから、実績が下がると思われる。

## 10 ガンマナイフ治療実績(脳神経外科にて実施)

年間実績と月平均患者数は令和3年度(10月累計)358件/51.1人(令和元年度569件/47.4人)となり、今年度の月平均は上昇傾向となった。

## 11 ダヴィンチ治療実績(泌尿器科、外科、産婦人科にて実施)

年間実績と月平均患者数は令和3年度(10月累計)97件/13.9人(令和元年度128件/10.7人)となり、月平均の治療実績が増加した。

## (2) 新規登録医療機関について

### 登録医の登録状況

令和3年10月31日現在の登録医療機関数は730医療機関(医科571医療機関、歯科159医療機関)971名登録して頂いている。令和3年8月から令和3年10月の3ヶ月で、新規登録医療機関は医科12件増加した。

## (3) 登録医制度(共同利用制度)の実施状況について

共同利用の利用状況は以下のとおりで例年並みの推移であった。

(令和3年度10月累計) (参考令和2年度実績)

CTの検査目的の利用件数	158件	284件
MRIの検査目的の利用件数	85件	151件
上部消化管内視鏡検査目的利用件数	7件	15件

(4) 市民公開講座の開催について

新型コロナの影響でこれまで開催を控えていたが、令和3年度は初めてZoomによるオンライン形式にて以下のとおり実施した。60人の参加があり半数の31人よりアンケートに回答を頂いた。講演については概ね好評をいただき、オンライン開催についても好感触であった。しかしZoom配信ということで、操作に不慣れな年配の方の参加者が少なかったと思われる。今後はZoomと対面を合わせた開催形式を検討していきたい。

・日 時 : 令和3年11月20日(土) 14:00~15:30

・開催方法: Zoomによるオンライン開催

・次 第

第1部「専門医による胃がんと大腸がん」

横浜労災病院内視鏡部部長 金沢 憲由

第2部「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)を知っていますか」

横浜労災病院がん看護専門看護師 大椋 裕美

(内藤委員長) コロナ下で集まったの講演は難しいが、今までは多くの方に市民公開講座に参加して頂いた。時間的な問題もあるが今後も引き続き講演をお願いしたい。

(5) 質疑応答・意見交換

・入院・外来患者数等実績報告、新型コロナについて

(内藤委員長) 新型コロナにより病院が困ったことについてはいかがであったか？

(平澤副院長) 当院の新型コロナの対応については、神奈川モデルに基き地域医療に支障をきたさないよう取り組んでいる。4~12月の間に224名の新型コロナ患者を受け入れた。最大36名のコロナ患者を収容できる病床を確保するため、2病棟を一時的に閉鎖し医師や看護師を集約して、重症のコロナ患者を診療できる体制とした為、従来の650床から約500床に減らして診療せざるを得ない時期もあった。

救急搬送については、コロナ患者受け入れのための人員と場所が必要であり、搬送を断らざるを得ないケースもあった。8月は84名の新型コロナ患者を受け入れ、空いた病床に県や救急からの受け入れ要請が続いたこともあり、救急搬送台数は例年よりそれほど減ってはいなかった。

11月以降新型コロナの第5波がおさまってから、当院には新型コロナ患者はいない。今後オミクロン株などにより第6派の際には、最大40病床の受け入れ体制を準備し、地域医療の安心につながるような医療を提供していきたい。

(山本俊委員) 令和3年度の紹介率が99.8%と非常に高いが、紹介状の無い患者は受け入れなかったということか？

回 答 当院はもともと紹介予約制であるが、コロナの影響もあり紹介状を持たずに来院する患者が減ったためと思われる。

## 5 閉会

(事務局からの説明)

次回は令和4年3月23日(水)に開催を予定している。